

1 PLAN(目的・概要)

政策名	国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	企画調整室 企画担当課長
施策名	国際産業戦略港湾の実現に向けた取組の強化		成果	コスト		
事務事業名	ポートアイランド利活用のあり方検討				連絡先 連携課	052-654-7906
目的	対象(誰・何を)	ポートアイランド利活用のあり方			事業 期間	令和元年度～令和5 年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	基本的な考え方を整理し、関係者との議論を重ねます。				
概要	ポートアイランドは、名古屋港内に残された大きな可能性を有した空間であり、物流、産業、交流、環境、安全などの利用が想定されます。そこで、港湾管理者として利活用のあり方の基本的な考え方を整理し、関係者との議論を重ねていきます。				根拠 法令等	
令和元年度の実施予 定	機能面から見た名古屋港の現況、課題、取り巻く状況を整理し、学識経験者等の意見を聴取しながら、ポートアイランド利活用の可能性を検討します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	機能面から見た名古屋港の現況、課題、取り巻く状況を整理し、学識経験者等の意見を聴取しながら、ポートアイランド利活用のあり方の可能性を検討しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			6,006	6,006	
人件費	千円			3,670	3,670	
合計	千円			9,676	9,676	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
検討の進捗状況 (全3工程)	目標			1		3	検討項目のうち完了した工程数を合計する ①利活用のあり方の検討着手 ②基本的な考え方の整理 ③関係者との議論	
	実績			1				
(進行管理型)	事業進捗状況(元年度)			順調・やや遅れ・遅れ				
	目標							
	実績							
	事業進捗状況(元年度)							
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	利活用のあり方の基本的な考え方の整理については、令和元年度から2年度の2か年で行う予定としています。令和元年度調査は予定どおり履行することができています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？	○	ポートアイランドは、港内に残された大きな可能性を有した空間であることから、港湾管理者が利活用のあり方の基本的な考え方を整理し、関係者と議論を重ねていく必要があります。					
有効性	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？	○	本港の一層の機能強化と利用促進、中部地域の更なる発展に繋がります。					
有効性	期待どおりの成果が得られているか？	○						
効率性	最小のコストとなっているか？	○	過去の調査や他事例を参考にしながら、効率的に取り組んでいます。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	利活用に係る港湾管理者としての基本的な考え方を整理するため。
課題		2年度以降の取組	
港内に残された大きな可能性を有した空間であり、物流、産業、交流、環境、安全などの利用が想定されることから、港湾管理者としての利活用のあり方を整理する必要があります。		学識経験者等の意見を聞きながら、港湾管理者としての利活用のあり方の基本的な考え方を令和2年度を目途に整理し、関係者との議論を重ねていきます。	